

キャラクター名 プレイヤー名

シンドローム	エンジェルハイロウ エンジェルハイロウ	ワークス	高校生	カヴァー	高校生
オプション		年齢	17	性別	男
覚醒	犠牲	衝動	自傷	初期侵食率	32%
出自	持ち望まれた子	経験	約束	邂逅	友人

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	24
肉体	0	1	0			1	行動値	14
感覚	6	0	0			6	(非装備時)	14
精神	2	0	0			2	戦闘移動	19
社会	0	0	1			1	全力移動	38

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	6		RC	2		交渉		
回避			知覚	1		意志			調達		
運転:			芸術:			知識:			情報: 噂話	2	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
羽+塵	射撃	6r+6		+2		
羽+塵+裁き	射撃	6r+6		+12		
羽+塵+裁き 100↑	射撃	6r+6		+16		
羽+塵+裁き+ピ 100↑	射撃	6r+6		+46		

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
カジュアル	
アクセサリ	
携帯電話	
制服	
思い出の一品	

合計装甲: 合計回避:

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
祈月 明菜 (母)	P 純愛	N 偏愛		
七海 弓香	P 純愛	N 不安		
野守 梶子 (先生)	P 信頼	N 不安		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コンセントレイト	2	2						
効果:								
小さな塵	1	2	メジャー	武器	-	射撃	-	
効果: 精密射撃を行えるように、知覚能力を強化するエフェクト。このエフェクトを組み合わせた攻撃の攻撃力を+[Lv*2]する。14DX+5@8								
光の銃	1	2	セットアップ	至近	自身	自動	-	
効果: 光を集めて射撃武器を造るエフェクト。形状はあなたの思いのまま。								
マズビジョン	5	4	メジャー	-	-	シンドローム	100	
効果: 残像を複数作り出し、一斉攻撃を行うエフェクト。攻撃力+LV*5する								
光の裁き	5	5	メジャー	-	単体	シンドローム	ピュア	
効果: 周囲を埋め尽くす光をもって、敵に回避不可の一撃を撃つエフェクト。射撃攻撃のダイス+LV*2,リアクションとドッチが不可となる。								
天からの眼	1	2	メ/リ	-	-	射撃	-	
効果: 屈折率を変化させて視野を広げる。ダイス+LV個								
レーザーファン	2	3	メジャー	-	範囲	シンドローム	-	
効果: 範囲攻撃に切り替える。シナリオにLv回使用								
スポットライト	1	-	メジャー	視界	効果	-	-	
効果: 光を屈折させて、任意の場所に光源を設置する。音はならないよ。								
天使の外套	1	-	メジャー	至近	自身	-	-	
効果: 光を操り、自らの姿に別の外見を上書きするエフェクト。声はかわらない。								
見放されし地	1	-	メジャー	視界	効果	-	-	
効果: 光の屈折率を操り、全ての光が遮断された空間を作り出すエフェクト。								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

一人称: ボク
二人称: アナタ/キミ

信心深い家系に生まれた長男。真っすぐで純粋。
父親がおらず母子家庭で育ってきた。責任感が強く、母と妹を支えるのは自分の役目だと自負していた。
シスターをしていた母に、いつか自分も教会で牧師を継ぐと夢を語る明るい青年だった。

ある日、学校から帰ると教会から妹の泣き声と母親の悲鳴が聞こえ駆け付けると、化け物(エネミー)によって妹が、母親が襲われていた。
見たこともない化け物に蹂躪される様をまざまざと見せつけられ、立ち向かったところで弾き飛ばされ動けなくなってしまった。
かすむ視界の中で、血を流しながら泣き叫ぶ妹と、それでも助けようともがく母親に、”まよ、どうか、どうかお助け下さい”と祈る。
しかし、神は何も応えてくれはしない。ならば、どうか…家族を、護れる力が欲しい…そう願ったとき、身体の中で何かが蠢いたのを感じた。
気付けば教会は荒れ果て、化け物は光の刃に串刺しにされ塵になる瞬間だった。それよりも、先に視界に映るのは、背中から刃をはやした状態で己を抱きしめる母の姿だった

現在はN市にある高校で生徒会書記を務めている。UGNのイリーガルとして、少しずつオーヴァードの在り方を模索しているところ。